

授業科目	臨床実習 2	2 学年・後期・1 単位 (45 時間)	
		作業	必修

科目担当責任者	中村充雄 (保健医療学部棟 E502 号) e-mail : micchan@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	太田久晶、中村裕二、森元隆文、他作業療法学科教員(病院・施設引率教員)		
概要	2 年後期に開講されている作業療法評価学 2 で学んだ評価技術を臨床で実践する。患児(者)を対象とした反応・反射・検査、面接・観察を実際に体験する。そして、検査・測定、面接・観察で得られた結果の解釈を行う。		
到達目標	<p>作業療法評価・検査の流れ(進め方)を説明することができる。</p> <p>検査・測定、面接・観察の意義を説明できる。</p> <p>検査・測定、面接・観察を対象者に実施することができる。</p> <p>検査場面の映像を視聴することによって結果を解釈できる。</p> <p>検査・測定、面接・観察を実施する際の注意点・リスク管理を遵守できる。</p> <p>検査・測定、面接・観察において患児(者)の特徴を理解できる。</p>		
評価	評価は原則本学教員が実施する。学生が作成する評価報告書の内容により評価する。実習の実施状況(70%)、評価報告書(30%)。評価にはルーブリック評価を用いる。		
履修上の留意点			

内 容 ・ 方 法																					
実習方法	<p>身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域の各臨床実習施設にて実習を行う。</p> <p>学生は臨床実習施設において担当教員・実習指導者の指導のもと、個々に以下の実習を行う。</p> <p>4 名-5 名で 1 グループを構成し、施設にて実習を行う。</p> <p>実習は 2 年後期に開講されている作業療法評価学 2 が終了したのちに実施する。</p> <p>週 1 回の頻度で 5 回にわけて実施する。</p> <p>臨床実習施設にて基本的な評価方法を試みる機会を得る。</p> <p>原則大学教員引率型とするが、各施設で学生を 2 グループに細分した場合臨床実習指導者・臨床教授等の協力を得て実施する。</p>																				
実習期間	2 年後期：作業療法評価学 2 の終了後に実施する。12 月末から 2 月末まで(予定)																				
実習場所	臨床実習施設に登録されている身体障害・精神障害・発達障害領域施設で実施する。																				
実習時間	9 時から 18 時まで(実習時間 8 時間)とする。ただし、実習施設によって変更する場合がある。臨床実習施設での検査・評価以外に、指導者からのフィードバック学習も含み 45 時間を実習として行う。																				
実習内容	<p>各実習施設における特徴的な疾患を対象として、実習指導担当教員・実習指導者の指導のもと適切な検査手技を実施する。</p> <p>①身体機能検査・精神機能検査に分かれ、以下の検査・測定項目について評価を見学・模倣(体験)する。</p> <p>【身体機能評価】-身体障害高齢期・発達障害領域-</p> <table border="0"> <tr> <td>1) 関節可動域測定</td> <td>(身障・発達)</td> </tr> <tr> <td>2) 腱反射・病的反射</td> <td>(身障・発達)</td> </tr> <tr> <td>3) 原始反射</td> <td>(発達)</td> </tr> <tr> <td>4) 感覚検査・姿勢評価・亜脱臼・変形・拘縮他</td> <td>(身障・発達)</td> </tr> <tr> <td>5) 筋力評価(握力・ピンチ力・MMT 等)</td> <td>(身障)</td> </tr> <tr> <td>6) 筋緊張評価</td> <td>(身障・発達)</td> </tr> <tr> <td>7) バランス評価(静的/動的・座位/立位)</td> <td>(身障)</td> </tr> <tr> <td>8) 上肢機能評価(STEF 等)</td> <td>(身障)</td> </tr> <tr> <td>9) 高次脳機能検査</td> <td>(身障)</td> </tr> <tr> <td>10) 動作分析</td> <td>(身障・発達)</td> </tr> </table> <p>【精神機能検査】-精神障害領域-</p>	1) 関節可動域測定	(身障・発達)	2) 腱反射・病的反射	(身障・発達)	3) 原始反射	(発達)	4) 感覚検査・姿勢評価・亜脱臼・変形・拘縮他	(身障・発達)	5) 筋力評価(握力・ピンチ力・MMT 等)	(身障)	6) 筋緊張評価	(身障・発達)	7) バランス評価(静的/動的・座位/立位)	(身障)	8) 上肢機能評価(STEF 等)	(身障)	9) 高次脳機能検査	(身障)	10) 動作分析	(身障・発達)
1) 関節可動域測定	(身障・発達)																				
2) 腱反射・病的反射	(身障・発達)																				
3) 原始反射	(発達)																				
4) 感覚検査・姿勢評価・亜脱臼・変形・拘縮他	(身障・発達)																				
5) 筋力評価(握力・ピンチ力・MMT 等)	(身障)																				
6) 筋緊張評価	(身障・発達)																				
7) バランス評価(静的/動的・座位/立位)	(身障)																				
8) 上肢機能評価(STEF 等)	(身障)																				
9) 高次脳機能検査	(身障)																				
10) 動作分析	(身障・発達)																				

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">1) 行動観察2) 面接② デイリーノート(評価結果の記載)の作成③ フィードバック学習を行い、検査手技の確認、正常値との比較、評価を実施する。 |
|--|---|